

学校図書館だより



平成29年7月12日
横浜市立森の台小学校
校長 酒井 浩明
図書主任 清水あゆみ
学校司書 近江弥穂子

No. 4

6月は森の台おすすり120冊（ピンクコース、イエローコース、ブルーコース）に取り組みました。多くの児童が自分のカードを持って嬉しそうに学校図書館へ足を運ぶ姿が見られました。今年度は3回に分けて取り組むので、1ヶ月の間に10～15冊ぐらいの本を読むことになり、全部完成させるのは結構大変でしたが、完成させたらもらえる「しおり」や「夏休み3冊借りられる券」をめざして頑張っていました。今回は、図書委員会が新しく考えた「夏休み3冊借りられる券」が人気でした。頑張ったけど6月中に終わらなかった児童も多いので、夏休みに続きを取り組んで、完成させられた児童には「しおり」をプレゼントします。ぜひチャレンジしてください。

図書館からのお知らせ

●夏休みの特別貸出 一人2冊まで借りられます。本をかえすのは、9月1日までです。

本を返す日を守りましょう。

●「夏休みに読んでみよう2017」低・中・高学年、配布しています。

普段なかなか手に取らない本にもぜひチャレンジしてみてください

先生のおすすめ本

佐々木先生（5-3） 「いのちをいただく」 内田美智子 文	吉田先生（5-4） 「君の脾臓を食べたい」 住野よる著	奥崎先生（5-5） 「トムソーヤの冒険」 マーク・トウェイン著	左東先生（4-1） 「そらめくんの はらっぱあそび」 なかや みわ作
-------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------------

学校図書館に
あります

学校図書館に
あります

給食週間にむけて、いのちをいただくことの意味を考えさせられる本です。

題名だけだと「一体どんな話…?!」と思うかもしれませんが、最後は涙がとまりませんでした。一日一日をしっかりと生きて大切な人との時間を大事にしたいとおもえる一冊です。

むかし、世界名作劇場というアニメをやっている、それがきっかけで本をよみました。ワクワク、ドキドキする本です。

そらめくんが、植物をふねやしゅりけん、ダーツやおすしなどに變化させて、お友達と遊ぶお話です。つくり方も書いてあるので、やってみたくあります。

トピックス ～足利尊氏（あしかがたかうじ）～

足利尊氏は、室町幕府の創始者として初代の征夷大將軍となりました。足利家は清和源氏の一族として鎌倉幕府時代も御門葉（源頼朝の源氏宗家に準ずる待遇を受ける家）に任じられた名門です。後醍醐天皇が鎌倉幕府打倒に向けて拳兵した時に、幕府の実力者であった尊氏は幕府に反旗を翻し、京都の幕府の拠点であった六波羅探題を攻め滅ぼします。これにより、幕府滅亡の功績が高く評価され、後醍醐天皇の諱（生前の実名）・尊治（たかはる）から一字もらい受け、尊氏と名乗ります（最初は「高」氏と名乗っていました）。その後、後醍醐天皇の建武の新政が人心を失っていく中で、武家を中心として尊氏への求心力が急速に高まっています。中先代の乱の鎮圧のため関東に向かった時に、後醍醐天皇との仲の悪さは決定的なものとなります。それ以降は持明院統（北朝）の光厳上皇、光明天皇を擁立して、大覚寺統（南朝）の後醍醐天皇に対抗します。世に言う、南北朝時代の始まりです。

北朝のもと、尊氏は1338年に征夷大將軍に任じられ幕府を開きます。尊氏を知る夢窓疎石（南北朝時代の臨済宗の僧）は、彼の徳として「戦場での勇猛さ」、「敵への寛容さ」、「部下への（恩賞などにおける）気前の良さ」の三点をあげています。とても度量の広がった人間と言うことができますが、一方で「寛容さ」はしばしば、敵を滅ぼすうえのツメの甘さにもつながり、幕府開設以降、しばらくは観心の擾乱などの内乱が引き続き、政局は安定しませんでした。尊氏の肖像画としては、以前は教科書にも載っていた京都国立博物館所蔵の騎馬武者姿のものが有名でしたが、近年の研究では尊氏とするには疑わしい点が多いことから、ほかの誰か（高師直？）の肖像画である可能性が高まっています。

今月のおすすめの本

「カブトムシ&
クワガタ百科」
子供の科学サイエンスブック
安藤 アン 誠起 著

カブトムシやクワガタムシの生態や体のしくみ、つかまえ方や飼育方法、種類の見分け方や標本の作り方などを、写真をたくさん使ってわかりやすく紹介している本です。ほかの子供の科学サイエンスブックシリーズもおすすめです。

「オリンピック
パラリンピック
大百科」全7かん

オリンピックとパラリンピックを、歴史、招致から開催までなど総合的に学べる本です。第一巻は1964年と2020年の東京オリンピックを解説しています。いよいよ3年後です。あなたもオリンピック博士をめざしてみませんか？！

編集後記

6月に行った森の台小学校おすすめの120冊の各コース、たくさんの方がチャレンジしてくれました。以前に比べて、自分が何類の本を読んでいるのか意識できる児童が増えていると思います。いよいよ夏休みです。普段なかなか手に取れない長めの本や、いろんな類の本にもチャレンジできる良い機会です。ある日突然字ばかりの本が読めるようになるわけではありません。まずは絵本、そして絵本から徐々に文字数が増え、挿絵が減っていくなかで、想像力も自然と鍛えられていきます。また、自由研究で何かを調べる時は、まず参考図書である、百科事典や、図鑑などで調べてみてください。その際、最低でも2冊以上は本を使うとよいです（できれば異なる類の本を探してみましょう）。インターネットを使う場合は、まず公共機関のものから先に調べるようにしてください。そして、どちらも必ず出典を書くようにしてください。また、調べたことを全部書くのではなく、特に大事なことを中心に簡潔に書けると良いのではないかと思います。おすすめの本のリストもいくつか配布していますので、ぜひ見てみてください。

学校司書 近江